

国連採択の“持続可能な開発目標”（SDGs）に賛同

SDGsで世界を変える コマニーが「SDGs∞モデル（メビウスモデル）」を制定

10月3日開催 SDGs3周年記念イベント（東京 3×3 Lab Future）に、当社 常務執行役員 塚本直之が登壇

パーティションで快適空間・機能空間を創造するメーカーのコマニー株式会社（本社：石川県小松市、社長：塚本幹雄）は、国連が提唱する“貧困のない平和な世の中をつくることを目標にした持続可能な開発目標（SDGs：エス・ディー・ジーズ）”に賛同し、2018年4月2日に『コマニーSDGs宣言』を表明。そして2018年9月28日に『コマニーSDGs∞（メビウス）モデル』を制定致しました。当社は、国連による『持続可能な開発のための2030アジェンダ』の採択以前より持続可能な社会への実現に向けて活動を展開。これまでモノづくりを通じて培ってきた『技術』を軸に、事業を通じて社会課題を解決することでステークホルダーの皆さまの幸福を追求し、SDGsの実現に向けて取り組んでいます。

2018年10月3日（水）18:30より、3×3 Lab Future（さんさんラボ フューチャー）にて開催されるSDGs3周年記念イベントでは、当社の常務執行役員 塚本直之（つかもと なおゆき）が登壇を予定しており、コマニーSDGs∞（メビウス）モデルについて説明致します。

「コマニーSDGs∞（メビウス）モデル」制定の背景

～SDGsと当社の経営の理念が合致、社会的インパクトを創出できるビジネスモデルで社会に貢献！～

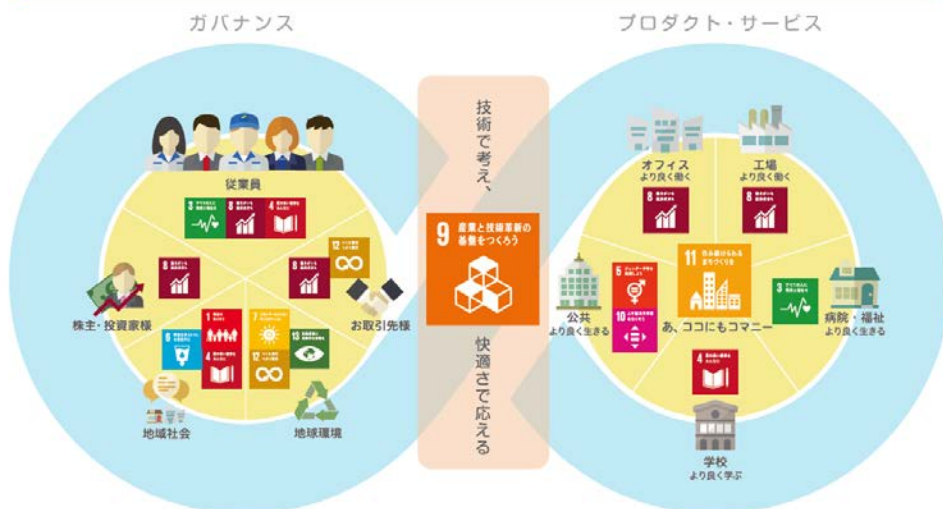
世界全体が実現を目指している持続可能な開発目標（以下、SDGs）のアジェンダ（前文）に記されている『大きな自由における普遍的な平和の強化を追求する』ことは、私たちコマニーが目指す経営の理念『全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する』を実現することと繋がっています。

コマニーSDGs宣言後、さらなる企業価値向上のために、当社の事業とSDGsの各Goalとの関係性や繋がりを明確にしました。当社の技術力で社会に貢献できるビジネスモデルとして明らかにし、実行するために視覚的・感覚的にわかるリンケージ図「コマニーSDGs∞（メビウス）モデル」として制定。事業を継続的に循環させ、社会的インパクトを創出し、企業価値向上を図っていきます。

Seeking to strengthen universal peace in larger freedom

～大きな自由における普遍的な平和の強化を追求～

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する



◆「コマニーSDGs[∞] (メビウス) モデル」の内容

①プロダクト・サービス

SDGsの達成に向けて、各市場（オフィス、工場、病院、病院・福祉施設、学校、公共施設）における社会課題解決に向け、産学連携での研究と商品開発を通じて社会的インパクトを創出していきます。

②ガバナンス

当社に関係するすべてのステークホルダー（従業員、お取引先様、株主・投資家様、地球環境、地域社会）に対しても積極的な対話を通して幸福度向上にむけて施策に落とし込み、『誰一人取り残さない』経営を実現することを目指します。

③レバレッジポイント（起点となるポイント）

①と②を持続的に循環させ、向上させる『コマニーSDGs[∞] (メビウス) モデル』を推進させ、機能させることを通じて企業価値向上を実現し、雇用創出など地方創生にも寄与していきます。この循環を実現する上で核となるのは『技術で考え快適さで応える』というSDGs Goal9に対応する当社の技術力であり、当社ではこの循環を仕組みとして明らかにし、実行するための『コマニーSDGs[∞] (メビウス) モデル』を制定し、実施に移してまいります。

具体的な内容は別紙資料「SDGs当社の取り組み」をご参照ください。

◆SDGs 3周年記念イベント開催概要

国連総会において持続可能な開発目標（SDGs）が2015年9月25日に採択されてから今年で3年目。本イベントでは、SDGsに取り組む各企業の代表者16名が、各社の現在の活動内容について5分間のプレゼンテーションを行います。また官・民・国際機関・NGO/NPO・学術界から様々な有識者を招いており、SDGsの取り組みや成果、現時点でのさまざまな課題などを議論し、積極的な意見交換を実施し、交流を図ります。

日 時： 2018年10月3日（水）18:30～21:30（18:00開場）
場 所： 3×3 Lab Future（さんさんラボ フューチャー）
東京都千代田区大手町1-1-2 大手門タワー・JXビル 1階
（東京メトロ、都営地下鉄大手町駅（C10出口）より徒歩2分）
定 員： 169名（SDGsのターゲット169項目にあわせて）
参 加 費： 3,800円（プログラム参加費、飲食代として）
プログラム： 18:00 開場
18:30-20:00 第1部：SDGsピッチ
20:00-21:30 第2部：懇親会
H P： <http://www.ecozzeria.jp/events/special/sdgs-3.html>
主 催： SDGパートナーズ有限会社
一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツェリア）
株式会社クレアン

※駐車場のご用意はございませんので、恐れ入りますが公共交通機関でお越しください。

当日の取材申し込みにつきましては、事前にコマニーまでご連絡いただけると幸いです。

コマニー株式会社については、こちらからもご確認いただけます。



<https://www.comany.co.jp>



facebook.com/comany.co.jp

PRESS RELEASE (2/3)



◆会社概要

社 名： コマニー株式会社
代 表： 代表取締役社長 社長執行役員 塚本幹雄
本 社： 〒923-8502 石川県小松市工業団地一丁目93番地
T E L： 0761-21-1144
設 立： 昭和36年8月18日
資 本 金： 7,121百万円
従 業 員 数： 連結1,475名、単体952名(2018年3月31現在)
営 業 品 目： 建築工事業国土交通大臣許可（特-26）第3669号
内装仕上工事業国土交通大臣許可（般-26）第3669号
建具工事業国土交通大臣許可（般-26）第3669号
U R L： <https://www.comany.co.jp/>

当社は「お客様のそばには常に当社の商品があり、誰もが心地よく感じるような空間を提供していく」パーティションのリーディングカンパニーです。オフィスビル、工場、教育、医療、福祉、商業、公共施設などあらゆる空間で、機能性やデザイン性を追求した空間・間仕切製品のご提供を、日本をはじめ中国や東南アジアなどグローバルに展開しています。

コマニー株式会社については、こちらからもご確認いただけます。



<https://www.comany.co.jp>



facebook.com/comany.co.jp

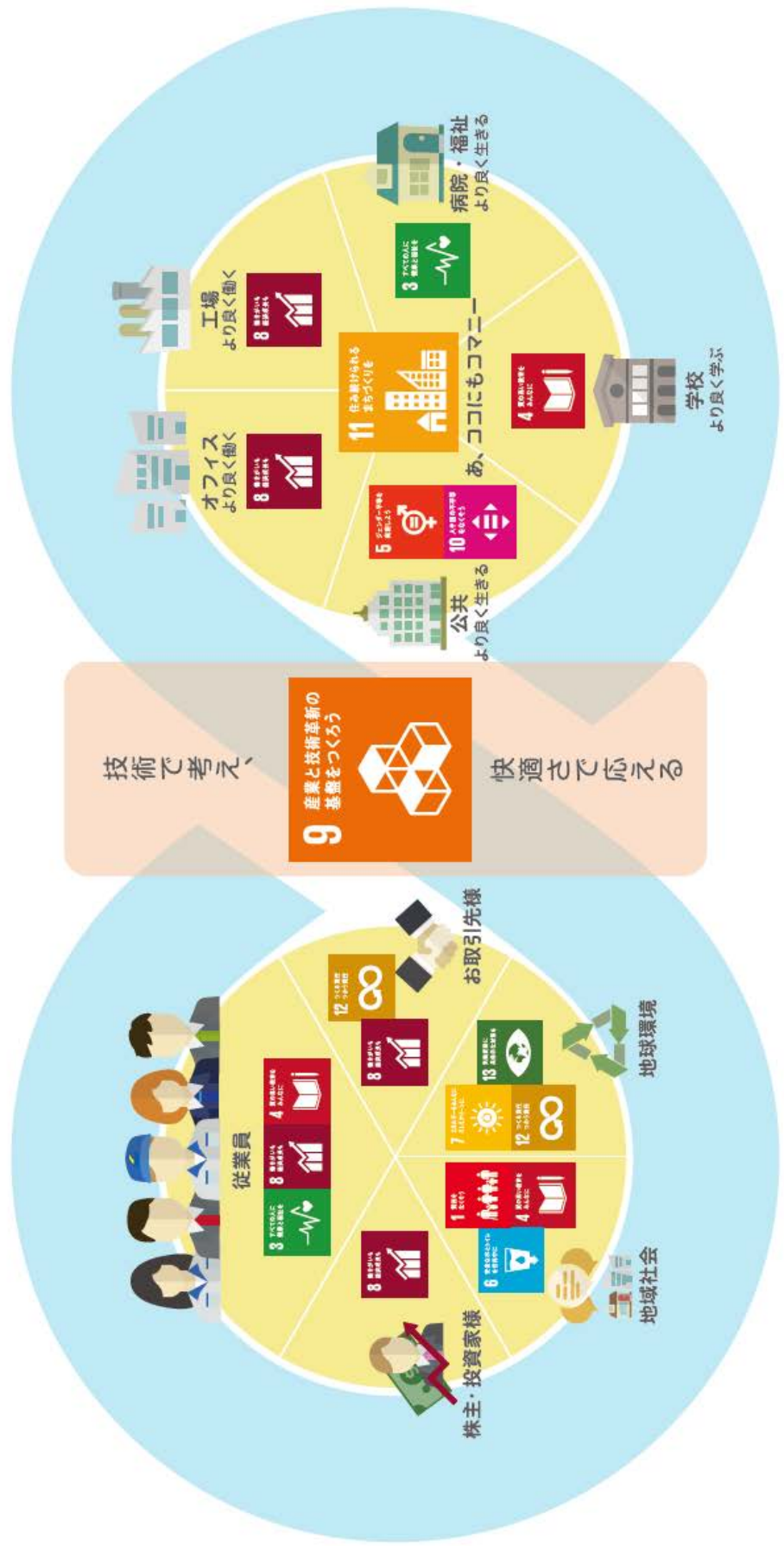
Seeking to strengthen universal peace in larger freedom

- 大きな自由における普遍的な平和の強化を追求 -

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する

ガバナンス

プロダクト・サービス



◆添付資料 SDGs当社の取り組み

活動領域	SDGs目標	社会課題 社会背景	現在の取り組み施策	今後の実施施策
プロダクト・サービス	市場全体		<ul style="list-style-type: none"> ●お客様満足度調査の実施 (当社商品を購入や指定するお客様) ●安心・安全を社会に提供 (高耐震間仕切シンクロンの普及) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニバーサルデザインのさらなる研究 ●産学連携によるトランスジェンダーのトイレ利用の研究と展開
	オフィス市場	 <ul style="list-style-type: none"> ・生産性向上 ・採用、雇用 	<ul style="list-style-type: none"> ●産学連携による高耐震間仕切シンクロンの販売展開 (従業員の安全) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ワーカーの生産性向上研究と商品展開
	工場市場	 <ul style="list-style-type: none"> ・国内回帰 ・BCP対策 	<ul style="list-style-type: none"> ●産学連携による高耐震間仕切シンクロンの販売展開 (設備の安全) ●耐火ファクトリーブースの販売展開 (まもっ太郎の展開) 	<ul style="list-style-type: none"> ●生産性の向上や品質確保に向けた自動化ロボット商品展開
	病院・福祉市場	 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会 ・介護問題 ・医療格差 	<ul style="list-style-type: none"> ●木製引戸の販売展開 (やさしいドアシリーズの拡充) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ドアから壁への商品力強化と展開
	学校市場	 <ul style="list-style-type: none"> ・少子化社会 ・長寿命化対策 ・教育改革 	<ul style="list-style-type: none"> ●長寿命化適合商品の販売展開 (学校間仕切SPartの展開) 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育施設の在り方研究と商品展開
	公共市場	  <ul style="list-style-type: none"> ・施設の国際化 ・利用者の多様化 	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニバーサルデザインに配慮した商品展開 (引戸、ディアード) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニバーサルデザインに配慮した商品の機能性向上と拡充
ガバナンス	全体		<ul style="list-style-type: none"> ●社内サステナビリティ経営推進チームによる活動促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●国際グローバル・コンパクト参加と活動推進
	従業員	   <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革 ・人財育成 ・ダイバーシティ 	<ul style="list-style-type: none"> ●社員教育の充実 (理念教育、スキル・技術教育) ●健康経営の充実 (健康診断項目の充実、被扶養配偶者の健康診断補助、メディカルマッサージ器設置) ●従業員満足度調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●テレワーク等多様な働き方への対応 ●外国人労働者の採用 ●社内における健康朝食/昼食の提供
	お取引先様	  <ul style="list-style-type: none"> ・児童労働、強制労働 ・下請法の準拠 	<ul style="list-style-type: none"> ●お取引先様満足度調査の実施 (当社に資材・材料加工を提供する得意先様) ●障害者支援施設への自立支援活動 (社会福祉法人うめの木学園へ委託) 	<ul style="list-style-type: none"> ●サプライチェーンマネジメントの確立 ●お取引先様への技術サポート
	株主・投資家様	 <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス ・ESG投資 	<ul style="list-style-type: none"> ●社外役員との積極的な対話によるガバナンス強化 ●コンプライアンスホットラインの活用 (不正行為等の早期発見と是正を図る) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ESGに考慮した経営の推進
	地球環境	   <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化 ・気候変動 ・CO2排出 	<ul style="list-style-type: none"> ●再生可能エネルギーの採用 (2013年より400kw太陽光発電を搭載) ●製品の廃材削減のための実寸製作の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ●RE100加盟を前提とした再生可能エネルギーの採用
	社会貢献	   <ul style="list-style-type: none"> ・NPO支援 ・被災地支援 ・ボランティア活動 	<ul style="list-style-type: none"> ●カンボジア支援 (19基の井戸支援、図書館建設、書籍寄付) ●被災地へのボランティア活動 (南三陸、熊本、朝倉等) 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域コミュニティとの連携強化